

# 社会

～憲法とわたしたちの暮らし～

## 授業のポイント

札幌市子ども議会の意義を考えることで、子どもが「自分にかかわることに参加すること」の大切さに気付く授業。

### 1. 単元について

前単元において、地方公共団体が行う地域のまちづくりを調べる活動を通して、身近な暮らしが政治とかかわっていることを学んでいる。

本単元では、テレビやインターネット等のニュースを取り上げる中で、国の政治が様々なところで自分たちの暮らしに結びついていることを学習する。また、日本の政治は日本国憲法に基づいていることや、日本国憲法の基本的な原則は平和で民主的な国家を築く上で極めて重要であることを、具体的条例を通して分かるようにしていく。

特に基本的人権については、具体的な内容を調べ考えることで、実感を伴った理解をさせていく。そして子どもの人権について、「子どもの権利条約」や「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」を通して理解を深めていく。

### 2. 視点について

#### 【視点1】 知へ向かう確かな力を生み出すために

子ども議会の意義を浮き彫りにするために、札幌市議会や市役所の役割についても取り上げる。札幌市議会は、選挙で選ばれた市民の代表者で構成され、議員は市民の意見に耳を傾け仕事を行っている。それは、日本国憲法に定められている参政権を保障するものであり、札幌市がまちづくりの主役は市民であると考え、市民のためのまちづくりを行おうとしているからである。

なぜ、わざわざ子ども議会を開くのかと問いをもたせることで、子どもも大事なまちづくりを行う一員であり、子どもの声にも耳を傾け、市をよりよくしていこうという、市長をはじめとする札幌市の願いを知ることができる。そして「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」において、「参加する権利」が定められていることに気付くことができるようにしていく。

#### 【視点2】 知を深める交流を支えるために

権利条例について、条例文をただ単に取り上げるのではなく、その条例に関連する具体的事例を扱う。そうすることで、子どもが普段何気なく行っている活動も、権利により保障されていることに気付かせることができる。

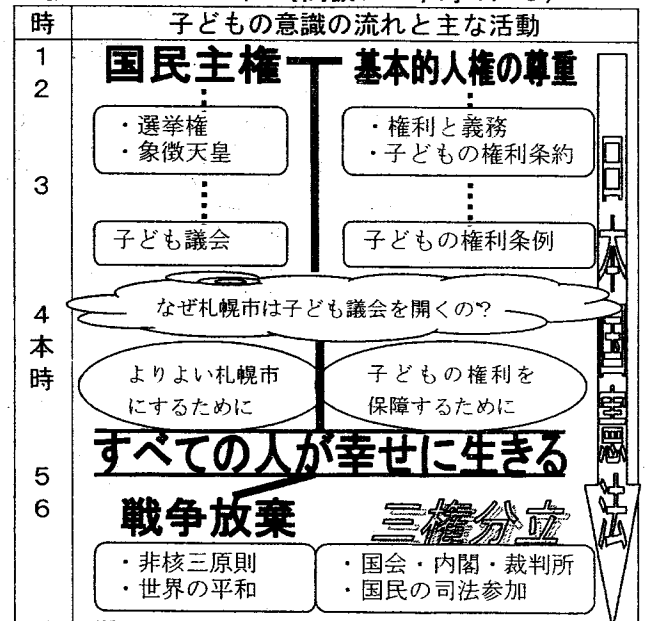
交流を通して、市長をはじめとする札幌市の願いを理解していく過程で、子どもは子ども議会が提案した議案は札幌市のまちづくりに生かされているのだろうかという追求意欲が生まれる。そして子ども議会の提案内容が実際に生かされている事例を提示し、子ども議会の存在意義について実感を伴った理解をさせる。その後、提案した内容が札幌市において実施・検討されていない事例を提示する。そのような事例においても、提案したことに意味があるの

かどうかにについて一人一人が考え交流することで、子どもは自分にかかわることに参加し、自分たちの考えを伝えることが大切であるという参画意識を深めることができる。

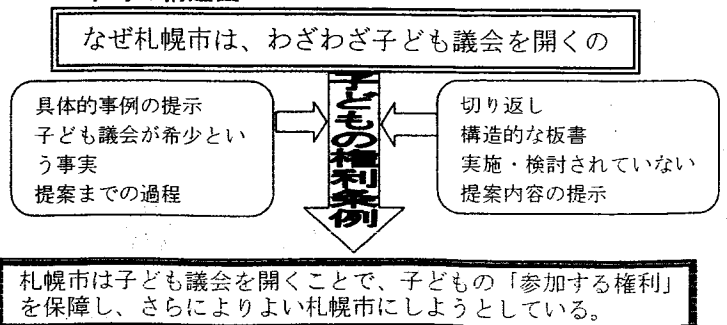
### 3. 単元の目標

- ・日本国憲法の基本的な考え方と日常生活における具体的な事柄との関係に関心をもっている。 <関>
- ・現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考え、適切に判断している。 <思>
- ・日本国憲法の基本的な考え方や国の政治、国民生活とのかかわりを新聞や図表などの資料を活用して調べ、調べた過程や結果を分かりやすく表現している。 <技>
- ・日本国憲法は、国家や国民生活の基本を定めていることや、国会・内閣・裁判所の働きが分かっている。 <知>

### 4. 学びのプロセス (6時間扱い 本時4/6)



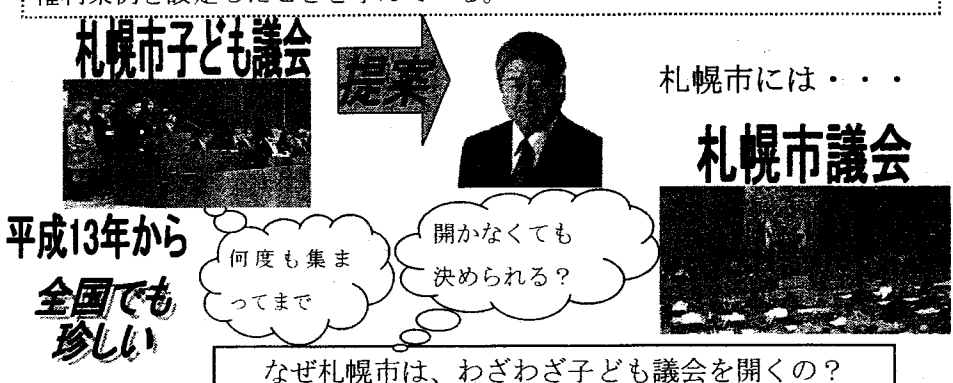
### 5. 本時の構造図



6. 本時の目標

- ・札幌市が子ども議会を開く理由を、子ども議会の取組や既習事項から考えようとする。 <関心・意欲>
- ・子ども議会の提案内容の実現状況から、自分にかかわることに参加することの大切さについて気付くことができる。 <思考・判断>

7. 本時の展開 (4/6)

子どもの意識と活動	教師のかかわり
<p>前時までの子どもの意識</p> <p>札幌市民と札幌市議会や市役所がどのようにかかわっているのかについて理解している。また、札幌市が子どもの権利を保障するために、子どもの権利条例を設定したことを学んでいる。</p>  <p>札幌市 子どもたち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人でも多くの市民の声を</li> <li>子どもにとっても過ごしやすい札幌市に</li> <li>子どもにも札幌市について責任をもって考えてほしい</li> <li>子どももまちづくりを行う一員だから</li> </ul> <p><b>参加する権利</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大人任せにしない</li> <li>子どもだって自分の考えを伝えることができる</li> <li>大人になった時に向けて</li> <li>仲間が集まり、提案できるのは嬉しく勉強になる</li> </ul> <p>よりよい札幌市に</p> <p>札幌市は子ども議会を開くことで、子どもの「参加する権利」を保障し、さらによりよい札幌市にしようとしている。</p> <p>提案したものは、札幌市で生かされているの？</p> <p>子どもにワークライフバランスの大切さを知らせるパンフレットを作成してほしい!!</p> <p>教員を採用する面接官に子どもも加えてほしい!!</p> <p><b>実施・検討できず</b></p> <p>実施されなくても、議会に参加したことに意味があるよ。</p> <p>札幌市のまちづくりを真剣に考えたことは無駄にはならないよ。</p> <p>子どもの考えがしっかりと札幌市の取組に生かされているよ。</p> <p><b>参加・参画すること、それ自体が大切なんだね!!</b></p>	<p>教師のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の代表者による札幌市議会があるにもかかわらず、子ども議会を開いている事実から問いを生む。 (視点1)</li> <li>○子ども議会を開く意義について、札幌市と子どもたちの立場から考え、板書に位置づける。 (視点2)</li> <li>○子ども議会の提案内容が実施された事実を提示し、子ども議会の存在意義への実感をもたせる。 (視点2)</li> <li>○提案内容が実現されていない事実を提示し、「提案したことには意味がなかったのか」と切り返すことで、提案が採用されるかどうかよりも、参加・参画することが大切であるということに焦点をあてる。 (視点2)</li> </ul>